

# 情報公開用文書(附属病院で実施する医学系研究)

西暦 2017年 1月 4日作成

<b>研究課題名</b>	進行胆嚢癌切除例における予後不良の因子の検討 —多施設後ろ向き観察研究— ACRoS-1404 project
<b>研究の対象</b>	2000年1月1日~2013年12月31日までに当院の消化器・腫瘍外科に通院または入院した胆嚢癌症例（非切除を含む）
<b>研究の目的</b>	切除可能胆嚢癌における予後不良の危険因子の検討を行う
<b>研究の概要</b>	多施設後ろ向き観察研究
<b>研究の方法</b>	症例報告フォーム（CRFs）を、研究のためのデータベース作成を目的に、各参加施設で医療記録から作成する。患者データは、コード化された形で転送され、分析される。CRFsはパスワード保護されたコンピュータで保持され、各参加機関における患者名を含むマスター・リストとは別に保存される。コード化された形のCRFsは、各参加機関から主任研究員のオフィスにCD-ROMで郵送される。コード化されたCRFsから作成された研究データは、主任研究員のオフィスで厳しく、施錠し守られる。データベースの解析から、切除可能胆嚢癌の手術適応と予後不良な危険因子を検討する。また、必要に応じて補助療法や再発形式などのサブグループ解析も行う
<b>研究期間</b>	倫理委員会承認後 ~ 西暦 2021年 12月31日
<b>個人情報保護に関する配慮</b>	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
<p>本研究のために、患者さんにあらたな負担や危険が生じることはありません。患者さんもしくはご家族の方等がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方のカルテ情報（年齢、性別、術前黄疸、胆道ドレナージ、手術日（診断日）、退院日、切除有無、非切除症例における切除不能因子、非切除例化学療法内容、腫瘍マーカー、身体所見、手術所見（切除例）、術前治療、術式、出血量、輸血量、手術時間、病理（切除例のみ）、最大腫瘍径、組織型、郭清リンパ節数、転移リンパ節数、癌遺残度、癌進行度、術後合併症、術後在院日数、再発有無、再発発見日、再発部位、転帰、最終転帰確認日、生存期間（月）、術後補助療法）は本研究に利用しないようにいたします。本研究への参加をお断りになられたとしても、不利益になることは一切ございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9                  横浜市立大学附属病院 消化器・腫瘍外科学 平谷 清吾                  電話番号：045-787-2800（代表）</p>	